



平成25年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ファーストエスコ

コード番号 9514 URL <http://www.fesco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 島崎 知格

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 小池 久士

TEL 03-5299-8525

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第1四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	1,339	△7.4	107	34.3	15	△71.3	8	△82.0
24年6月期第1四半期	1,446	△18.6	80	113.7	55	—	49	△2.5

(注) 包括利益 25年6月期第1四半期 24百万円 (△61.6%) 24年6月期第1四半期 62百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第1四半期	60.95	—
24年6月期第1四半期	338.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第1四半期	11,940	500	4.1
24年6月期	12,321	470	3.8

(参考) 自己資本 25年6月期第1四半期 494百万円 24年6月期 470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年6月期	—	—	—	—	—
25年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,000	8.8	150	33.9	100	66.7	80	63.3	549.82
通期	5,800	4.0	330	8.9	220	17.6	200	△20.0	1,374.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年6月期1Q	145,501 株	24年6月期	145,501 株
25年6月期1Q	― 株	24年6月期	― 株
25年6月期1Q	145,501 株	24年6月期1Q	145,501 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については四半期決算短信（添付資料）4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災の復興需要に支えられ国内景気に一部回復の兆しが見えたものの、債務危機による先進国の景気の低迷や円高ならびに中国における経済成長の減速、反日デモなどの混乱により、国内産業の外需見通しには予断を許さない状況で推移いたしました。

当業界においては、全国の原子力発電所の多くが停止している状況を背景に省エネルギーに対する関心はより一層の高まりを見せる一方、平成24年7月に施行された再生可能エネルギーの固定価格買取制度に関連して新たに太陽光発電設備を設置し顧客自らがエネルギーの生産者として環境改善に寄与する動きが活発化してきております。

こうした状況の下、当社グループでは既存オンサイト自家発電設備の稼動向上はもとより、再生可能エネルギーの導入に関連した新たな顧客ニーズに対応し木質バイオマス発電、太陽光発電のコンサルティングや導入支援に注力してまいりました。特に木質バイオマス発電所の運営管理については、先駆者としてのノウハウの蓄積や実際の運営事業者としての実績から、様々な引合いを受けております。当社グループは、今後、さらなる発展が必要不可欠な再生可能エネルギーの供給に関して、当社のオリジナリティを発揮した施策の展開を推進してまいります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業況は、前年同期と比較して売上高については大幅に減少したものの営業利益段階では増益となりました。売上高の減少は、省エネルギー支援サービス事業においてオンサイト自家発電事業の大口顧客の燃料調達方法の変更起因して、当社が提供するエネルギーサービスの内容が変更となったことによります。一方、グリーンエネルギー事業では、8月に落雷の影響で日田ウッドパワー発電所の稼動が一時的に下がったものの、(株)ファーストバイオスの外部燃料販売は好調に推移し同事業セグメントの売上高は増加いたしました。営業利益については、省エネルギー支援サービス事業においてメンテナンス費用が増加し減益となったものの、グリーンエネルギー事業のバイオマス燃料販売の売上増加により一定の成果を上げることができました。このほか、一部の機械装置に係る債権について回収に懸念が生じたため営業外費用に貸倒引当繰入額を計上したことで経常利益は減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,339,290千円（前年同期比7.4%減）、営業利益107,892千円（前年同期比34.3%増）、経常利益15,961千円（前年同期比71.3%減）、当第1四半期純利益8,867千円（前年同期比82.0%減）となりました。

(省エネルギー支援サービス事業)

当第1四半期連結累計期間は、オンサイト自家発電プロジェクトのいくつかのサイトで契約更改時期を迎え、エネルギーサービスの従量料金に係る取決めが変更となったため売上高が大幅に減少いたしました。また、夏のお盆の期間を利用して定期点検を実施した際に追加のメンテナンス工事が発生したため費用が増加いたしました。一方、新規顧客の開拓については、LED照明への入替や空調設備の高効率化など夏の省エネルギーに即効性のある物品の販売が堅調に推移したほか、停電に備えた非常用発電機や太陽光発電設備などのエネルギー確保のための施策の受注が増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の本事業セグメントの業績は、売上高825,978千円（前年同期21.0%減）、営業利益40,220千円（前年同期10.4%減）となりました。

(グリーンエネルギー事業)

当第1四半期連結累計期間は、7月に大分県日田市で集中豪雨により河川が氾濫する災害が発生し、当社グループの日田ウッドパワーにおいても洪水の直接的な被害は無かったもののその後の夏場の天候悪化等で発電所稼動状況に影響が出る結果となりました。降雨量が増加すると燃料となる木質チップの含水比も増加し効率が悪化することとなるほか、頻繁に発生した雷の影響により送電がストップする事態が出ております。しかしながら幸い大きなトラブルに発展することはなく一定の操業を維持することができました。(株)ファーストバイオスが担当する木質チップ燃料調達については、これまで拠点のある日田市、白河市のほか宮崎県日向市に新たな拠点を設け事業領域の拡大に注力しております。その結果、当四半期では売上高、利益ともに前年同期と比較して増加することができました。

また、平成24年7月より再生可能エネルギーの固定価格買取制度がスタートし事業環境の変化に注意しているところですが、木質チップの調達環境では現在のところ目だった変化はありません。固定価格買取制度では、燃料となる木質チップの種類により販売する電力価格が3段階に規定されております。これは、発電の際に使用した燃料種別により送電量を按分し、それぞれの単価を乗じたものが全体の売上高となるものです。

当社グループの運営する木質バイオマス発電所2基は、大分県日田市、福島県白河市にあります。地元自治体や周辺市町村、さらに周辺地域の林業事業者や製材事業者の方々とも協議をさせていただいた結果、当社グループ発電所に対して、森林再生、林業振興の面で強い期待を頂戴いたしました。こうした皆様のご意向も踏まえて総合的に勘案した結果、平成24年11月1日付けで同制度への移行手続きを進めることとなりました。

比較的電力販売単価の高い未利用木材、一般木材の調達量やその価格の動向ですが、現在のところ市場形成には至っておりません。

また、木質チップを利用するバイオマス発電所の競合他社の参入も活発化しているとは言えず、今後、燃料側の量及び価格の変化と需要側である新規参入発電事業者の情報に留意して、安定的な収益確保の運営判断を進めてまいりたく存じます。

当1四半期連結累計期間の本事業セグメントの業績は、グループ内取引を含めた売上高では531,311千円(前年同期比32.7%増)、外部顧客に対する売上高では513,311千円(前年同期比28.2%増)、営業利益96,906千円(前年同期比70.9%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、長期借入金の返済や税金の支払等による現預金の減少のほか、固定資産の減価償却による減少により前連結会計年度より381,033千円減少し11,940,953千円となりました。

負債合計は、長期借入金、長期未払金の支払により前連結会計年度より411,336千円減少し11,440,164千円となりました。

純資産合計は、四半期純利益の計上、新株予約権の発行により前連結会計年度より30,302千円増加し500,788千円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年6月期の連結業績予想につきましては、前述のグリーンエナジー事業における固定価格買取制度の移行等による影響がございますが、現時点において精査中のため、平成24年8月14日に発表いたしました公表値を据え置くこととします。数値が明らかになり次第速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当社及び一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	576,793	505,235
受取手形及び売掛金 (純額)	1,069,008	1,060,376
原材料及び貯蔵品	171,345	163,410
繰延税金資産	86,238	86,238
その他	312,346	362,161
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	2,215,633	2,177,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,624,816	2,631,105
減価償却累計額	△952,035	△986,598
建物及び構築物 (純額)	1,672,781	1,644,506
機械装置及び運搬具	16,092,143	16,121,836
減価償却累計額	△8,891,856	△9,149,199
機械装置及び運搬具 (純額)	7,200,287	6,972,636
工具、器具及び備品	73,107	73,107
減価償却累計額	△61,246	△61,913
工具、器具及び備品 (純額)	11,861	11,193
土地	241,961	241,961
リース資産	580,680	585,380
減価償却累計額	△223,865	△247,251
リース資産 (純額)	356,814	338,128
有形固定資産合計	9,483,705	9,208,427
無形固定資産		
電気供給施設利用権	120,172	117,004
その他	2,813	2,580
無形固定資産合計	122,985	119,584
投資その他の資産		
長期未収入金	110,627	110,627
長期前払費用	117,706	110,232
長期預け金	290,758	287,502
その他	35,884	37,884
貸倒引当金	△55,313	△110,627
投資その他の資産合計	499,662	435,618
固定資産合計	10,106,353	9,763,631
資産合計	12,321,986	11,940,953

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	434,572	475,000
短期借入金	50,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	714,060	714,060
未払金	156,724	100,839
1年内支払予定の長期未払金	1,583,185	2,043,800
リース債務	78,899	78,899
未払法人税等	32,330	12,620
賞与引当金	17,179	19,953
メンテナンス費用引当金	249,824	261,235
契約損失引当金	34,654	34,654
その他	140,069	144,290
流動負債合計	3,491,502	3,985,354
固定負債		
長期借入金	2,027,130	1,848,615
長期未払金	4,807,380	4,141,328
リース債務	305,245	285,285
長期前受金	217,421	205,482
契約損失引当金	547,088	536,187
金利スワップ負債	141,498	126,239
長期預り金	314,234	311,672
固定負債合計	8,359,998	7,454,810
負債合計	11,851,501	11,440,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,840,230	6,840,230
利益剰余金	△6,228,245	△6,219,377
株主資本合計	611,984	620,852
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△141,498	△126,239
その他の包括利益累計額合計	△141,498	△126,239
新株予約権	—	6,175
純資産合計	470,485	500,788
負債純資産合計	12,321,986	11,940,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	1,446,552	1,339,290
売上原価	1,286,633	1,133,585
売上総利益	159,918	205,704
販売費及び一般管理費	79,599	97,812
営業利益	80,319	107,892
営業外収益		
受取利息	280	45
貸倒引当金戻入額	2,371	—
助成金収入	—	450
作業くず売却益	—	184
その他	482	161
営業外収益合計	3,135	842
営業外費用		
支払利息	27,749	24,074
貸倒引当金繰入額	—	55,313
その他	—	13,384
営業外費用合計	27,749	92,773
経常利益又は経常損失(△)	55,705	15,961
特別利益		
短期売買利益受贈益	2,771	—
特別利益合計	2,771	—
税金等調整前四半期純利益	58,477	15,961
法人税、住民税及び事業税	9,291	7,093
法人税等合計	9,291	7,093
少数株主損益調整前四半期純利益	49,186	8,867
少数株主利益	—	—
四半期純利益	49,186	8,867

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	49,186	8,867
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	13,582	15,258
その他の包括利益合計	13,582	15,258
四半期包括利益	62,768	24,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,768	24,126
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計
	省エネルギー支援サービス事業	グリーンエネルギー事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,046,163	400,389	1,446,552	1,446,552
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,046,163	400,389	1,446,552	1,446,552
セグメント利益	44,873	56,692	101,566	101,566

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	101,566
全社費用(注)	△21,246
四半期連結損益計算書の営業利益	80,319

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計
	省エネルギー支援サービス事業	グリーンエネルギー事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	825,978	513,311	1,339,290	1,339,290
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	18,000	18,000	18,000
計	825,978	531,311	1,357,289	1,357,289
セグメント利益	40,220	96,906	137,127	137,127

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	137,127
全社費用(注)	△29,235
四半期連結損益計算書の営業利益	107,892

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。